

2020年度通常公募 団体情報シート				
団体名	公益社団法人アニマル・ドネーション		団体web サイトURL	https://www.animaldonation.org/
申請事業名		申請受付番号		2023
主題	犬のチカラで困難を抱える子供・若者の支援事業		申請事業の分類①	①草の根活動支援事業
副題	発達障害や引きこもり、被虐待児の子供・青年へ動物を介在させ社会性・社会 適応性改善の実証する		申請事業の分類②	①-1 全国ブロック
			申請事業の分類③	-
優先すべき社会の諸課題選択科目				
領域①	1)子ども及び若者の支援に係る活動		領域②	2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
分野①			分野②	
②	日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援		⑤	社会的孤立や差別の解消に向けた支援
-	-		-	-
-	-		-	-
領域③	3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動		領域④	-
分野③			分野④	
⑥	地域の働く場づくりの支援		-	-

申請事業概要	
<p>発達障害や愛着障害をもつ子供や若者の生活基盤を支える社会的スキル（社会性・社会適応性）のトレーニングとして犬を介在させることには、犬との触れ合いによるオキシトシンの増加によるメンタル面での健康回復（ストレス緩和、不安や恐怖の減少）や、犬が健常者と障害者を区別なく接する態度から生じる様々な変化（信頼感、自立心、自尊心）をもたらす。本事業は、発達障害者や愛着障害者に対する動物介在活動が社会的スキルのトレーニングに役立つことを専門家アドバイザー（精神科医、教育学者、獣医学分野）の監修もと、行動観察チェックシート（仮称）を作成し、各実行団体において共通の指標を用いることで、行動の変化効率的・効果的にデータとして蓄積すること、各団体の介在活動の内容と介在活動による支援対象者の行動の変化を互いに分析し、動物介在活動のノウハウの蓄積することを目的とする。また本事業実績を発信し、動物介在活動や介在療法の研究者、福祉従事者、医療重視者との接点を結び、動物介在活動が実践できるセラピスト、団体を質・量ともに高めるための基盤整備や、療育に係る支援団体との連携の足がかりとしたい。</p>	

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	2010/7/20
	法人格取得年月日	2010/7/20
2	●団体概要	
	団体概要	オンライン寄付サイトを運営、これまでの個人・団体（寄付件数約6,000件以上）からの寄付総額1.5億円（2011年9月から現在）。累計支援団体数、24団体。中間支援組織として明確な認定基準と外部有識者で構成された審議委員会で認定団体を選定。プログラムオフィサー的役割を担う「リサーチャー制度」を設け、認定団体毎に担当者が活動を伴走支援しています。
3	●代表者情報	
	代表者名	峯岸 衣里
	代表者の役職	代表理事
	代表者名 2	-
4	●役員	
	役員の人数	5人
	（その内）監事/監査役・会計参与の人数	1人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	1人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	55人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	0人
	常勤・有給・無期	0人
	常勤・無給(有期・無期)	1人
	非常勤・有給・有期	4人
	非常勤・有給・無期	0人
非常勤・無給(有期・無期)	50人	
	事務局体制の備考	常勤・有給0名
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	決済責任者と通帳管理者が同じ人になっている
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	問題なし
	2.業務別に区分経理ができる体制である	問題なし
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事で実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	20団体
2	前年度の助成総額 (円)	約2,600万円
助成事業の実績内容		

私たちアニマル・ドネーションは、2010年日本の動物福祉の根深い問題を変えるべく立ち上がった有志によって始動。1年のリサーチを経たのち、日本初の動物専門オンライン寄付サイト『アニドネ』が2011年に誕生。2015年には内閣府より公益性の評価を受け、公益社団法人に認定。2018年5月、公益社団法人の中でも約1割となる、税額控除対象法人として認定。主な活動、①オンラインによる寄付サイトの運営事業 ②海外や日本の動物福祉事情のリサーチ事業 ③正しい知識を多くの方に知っていただくためのセミナー事業。オンラインで寄付ができる仕組みにより寄付件数6,000件。現在までの支援24団体。寄付総額約1.5億円（2020年5月時点）。寄付しやすいシステム構築や中間支援組織としての支援先の情報管理など、関連団体、専門家、企業と広く連携しながら活動。10年間の活動の結果、日本の動物福祉向上に貢献。しかしながら、先進国の中では、人と動物との共生する社会の実現達成には多くの課題がある。動物福祉を変革していくためには、動物に対して正しい知識を持つことが何より重要だと考え、日本や海外の動物関連リサーチや動物福祉セミナーを実施。以下、具体的実績。【情報発信】国内外の行政や動物愛護センター、動物の専門家などへ取材や、動物関連リサーチ（海外先進事例リサーチ、国別法律比較、メディアによる表現調査他）、朝日新聞WEBメディアsippo連載【企業コラボ】企業が持っているスキームと寄付コラボを立案から実施：Amazon、朝日新聞社、(株)サイバーエージェント他、参画企業は100社以上。【動物福祉認知活動】映画とのコラボ寄付企画、写真投稿企画、認定試験企画【新しい未来への活動】「アニドネレガシー（遺贈寄付）」の取組み。

誓約確認等		システム入力
欠格事由に関する誓約	誓約	チェックあり
業務に関する確認	業務1.1の確認	チェックあり
	業務1.2の確認	チェックあり
	業務2の確認	チェックあり
	業務3	該当なし
	業務3の確認	チェックあり
個人情報保護に関する基本方針の同意	同意	チェックあり